

1980 (毎月 1 回) 発行

4 月 号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(昭和 55 年 3 月 1 日 現在)

村の人口	1,588 人
総人口	1,819 人
男	819 人
女	769 人
出生	2 人
死亡	0 人
転入	10 人
転出	5 人
世帯数	489 世帯

今日はたのしい入園



昭和五十五年度 予算及び施政の 方針について

昭和五十五年度の予算をご審議いただくに際しまして、予算編成に対する考え方、並びに財政の状況を申し上げ、隔意なきご批判と村政執行に對するご協力及びご理解を賜りたいと存じます。

数年来の公共事業による景気の刺激、企業の減量経営、内需の拡大等により我が国の経済は、さきの石油危機以前の水準を上回る景気の回復が見込まれましたが、原油価格の大幅な値上げ、供給量の大幅削減等の第二次石油危機、自動車輸出に端を発した対外経済摩擦の再燃、さらには、円安によりインフレの激化、ひいては不況下の物価高というスタグフレーションの進行が懸念され、さきほど公定歩合の引き上げがなされたところであります。

しい財政事情の下で四十二兆五千八百八十億円余の予算が編成され、現在国会で審議中であります。

国は昨年と同様大変な財政危機であります。歳入においては国債の発行を前年度より一兆円減額する一方、歳出において公共事業を前年度同額にするとともに歳出の見直しを厳しく行い前年度伸び率十・三パーセントと低くおさえ、昨年の公債天国批判に對処しております。

地方財政につきましては、本年度二兆五百五十億円の財源不足が見込まれておりますが、臨時地方特例交付金一千三百億円、交付税特別会計の借入れによる地方交付税の増額八千九百五十億円、財源対策債の増発一兆三千億円の財政措置がなされたところであります。

このような財政事情の下での予算編成となりましたが、

この度、提案いたしました昭和五十五年度予算は、次のとおりです。

一般 会 計

十一億九千九百七十七万円

簡易水道事業特別会計

七百十四万五千円

国民健康保険事業特別会計

三千四百九十七万九千九百九十九円

診療所事業特別会計

二千三百三十一万八千八百八十八円

農業共済事業特別会計

六百九十七万〇千円

スキー場事業特別会計

四千二百九十二万六千六百六十六円

で、一般会計と各特別会計の合計は、十二億一千五百三十三万五千円であり、前年度と比較しますと一般会計においては（二億三千六百五十九万二千円の増額）、特別会計においては（三千四十九万八千円の減額）となっております。

第一には、三年目を迎えた九頭竜国民休養地整備事業のメイン施設である国民宿舎の建設費一億五千五百五十万円であり、本事業により国民休養地の大部分が完成し、スキー場と合わせて四季を通じた滞留型の観光地へ大きく前進するものと確信いたしております。

減（一千六百三十一万五千円）、国民健康保険の保険給付費の減少による減（八百五十八万円）、スキー場建設に借入れした起債の一部償還終了に伴う減（五百七十六万九千円）であります。

本年度予算の主なるものは、次のとおりです。

第一には、三年目を迎えた

第二には、農林水産業の振興であります。三年目に入った林業構造改善事業は六千九百二十四万円をかけて林道の開設、造林施設の整備、入会林野の整備を行うものであります。又、二千八百十五万円をかけて林道の改良整備を行うほか、各地区から要望のありました農林業施設の改良等について、二千五百五十万円を措置し、順次整備することにいたしました。

このほか、一千七百九十万九千円で村有林の造林を進めることとし、昨年まで国の助成をうけて奨励してききました黄蓮栽培については、国の助成は打ち切りとなりましたが村の特産品として引続き奨励するべく村単独事業として、二百七十七万一千円を予算計上いたしました。

第三には、生活環境の整備

第四には、教育文化関係であります。大納小学校の運

（次のページへつづく）

(前ページより)

動場整備事業として五百五十万円、民俗館の屋根葺替事業百七十四万五千円、下山プール改修事業百四万円を計上したほか、心身ともに健全な人づくりを進めるべく配慮をいたしました。

第五には、昨年九月の台風による災害の復旧事業として三千四十一万八千円を措置し林道等十ヶ所を復旧することにいたしました。

このように住民の福祉向上は言うまでもなく、村民生活の安定、村勢の発展のため予算の規模は大きくなっており、経常経費については厳しく抑制したつもりであります。

歳入については、次のとおりです。

- ◎村 税 二億五千七百九十四万九千円
- ◎地方交付税 一億五千五百〇〇万〇千円
- ◎地方譲与税・自動車取得税 交付金 一千百六十万〇千円
- ◎国庫支出金 八千円
- ◎県支出金 六千五百十五万六千円
- ◎県支支出金 九千四百七十五万〇千円

債

◎その他特定財源 二億四千五百二十万〇千円

◎財政調整基金の取りぐずし 四千二百三十四万二千円

◎前年度繰越金 三千万円

を充当して、収支の均衡をとったものでありますが、本年は受益者負担について見直しを行い、適正な負担となるよう所要の改正を行うものであります。

当面の問題及び今後の村づくりについて 近年にいたり、地方の時代ともてはやされており、豪雪山村といった厳しい条件の中で、和泉村をいかに過疎から脱却させて人口の定住を図るか、大変困難な問題であります。

特に若年層を中心とした後継者対策について早急に対処する必要性に迫られておりますが、就業先の創設については農協、森林組合等の公共的産業団体に協力を求める計画であり、国民宿舎の経営につい

ても公共的団体である農協に委託する予定であります。なお本村の最大企業であります中竜鉱山に対しても、今後の採用について村内住民の後継者を優先的に採用していただくよう交渉し、村が仲介の労をとる考えであります。

又、本年は第三期山村振興計画の樹立地域に指定される予定でありますので、これを機会に、議会の皆さんとともに、就業機会の増大、都市的余暇活動の充実、生活環境の改善等総合的な後継者対策、地域の特性を活かした村づくりの基本計画を策定いたしましたと考えております。

次に世界的な資源エネルギー不足の時代を迎え、地方公共団体に對しても代替エネルギーの開発が求められておりますが、本村には天賦の資源であります水資源が未利用のまま大量に残留しておりますので、揚水発電の促進ならびに小水力資源の開発に努力いたしたい所存であります。

鉄再建法案が今国会に指し出されておりますが、雪国に住む私たちにとって越美線はまさに唯一の命綱であり、同法案に強く反対し越美線の存続及び全通に全力をあげて取り組み覚悟であります。又、国道一五八号は生活道路として地域住民の足であります。この改良につきましても強く運動

第96回村議会 (定例会) 昭和五十五年 一般会計予算総額 十一億百九十九万七千円 (十四・一%の伸び)

第九十六回和泉村議会は、三月十二日から十七日(土、日除く)まで招集され、新年度予算(一般会計、簡易水道事業など特別会計を合わせた総額十二億一千五百三十三万五千円)の予算案など議案十九件が提案され原案どおり可決されました。

主な議案は次のとおりです。 ◎和泉村固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて 登(久男氏(上大納)が選任されました。 ◎昭和三十四年度一般会計補

を展開し、油坂トンネル改良工事の早期着工を促進いたしたいと存じます。 なお、行政推進に当りまして、内部的問題として公務員の衆の向上、信賞必罪制度の確立をしたいと思います。 以上で私の予算の概要説明並びに村づくりの方針を終らせていただきます。

正予算(第七次) 最終予算額……十億八千八百七十四万六千円 ◎昭和三十四年度簡易水道事業特別会計補正予算(第二次) 最終予算額……二千三百七十

◎昭和三十四年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第三次) 最終予算額……三千七百二十 五万一千円 ◎昭和三十四年度診療所事業特別会計補正予算(第二次) 最終予算額……二千三百十六万三千円

(次のページへつづく)

(前ページより)

- 昭和五十四年度スキー場事業特別会計補正予算(第三次)最終予算額…四千八百十九万八千円
- 昭和五十五年一般会計及び簡易水道事業など五特別

会計予算

概要については、予算の概要説明で述べてありますが、詳細については、次号(五月号)でお知らせいたします。

労働保険(労災保険・雇用保険)

昭和五十五年度年度更新のお知らせ

申告と納付期限は五月十五日です

- 労働保険の昭和五十四年度確定保険料と昭和五十五年度概算保険料の申告、納付の時期になりました。

事業主のみなさまへ既にお届けしてある「労働保険概算確定保険料申告書」は早めに提出しましょう。(四月一日より取扱開始)

- 昭和五十五年四月一日より労災保険率が改正されましたつきましては、昭和五十五年以降の労災保険の概算保険料の算定にあたっては、新労災保険率(申告書同封)によって算出し、申告納付していただくこととなります。
- 労働保険料の申告納付の手続きは、左記のとおり集合受付会場を開設しますのでご利用ください。

日時 四月二十三日(水) 午前十時～午後三時

場所 和泉村老人福祉センター

●なお、申告について、わからない点がありましたら和泉村商工会へご相談ください。

勤労者のみなさんへ

生活安定資金を融資します。

この度、村では福井県労働金庫と提携して、勤労者生活安定資金の融資を行うことになりました。

この制度を利用して生活の安定と福祉向上のための資金として活用してください。

実施時期 四月四日から

融資資格 和泉村に住所を有する方で、今勤めている職場で一年以上たつた方。

融資額 一人五〇万円以内

融資利率 年利七・二%
 融資期間 三年以内
 償還方法 元利均等償還
 必要書類

- (イ) 勤労者生活安定資金申込書(労金)
- (ロ) 印鑑証明書

(ハ) 給与証明書

申込先 福井県労働金庫大野出張所 ☎七七九六〇六
 〇二三九八
 その他 融資枠が定めてありますので、早めにお申込み下さい。

その他詳細については、福井県労働金庫大野出張所又は、役場(総務課)へお問い合わせください。

昭和五十五年度の嘱託員さん・班長さん

今年の各地区の嘱託員さん班長さんが次のとおり決まりました。

何かとご苦労さまですがよろしく願います。

- 朝日前坂 加藤 義雄
- 角野前坂 猿谷 秋雄
- 後野 三島 二勇
- 貝 皿 島田 ちゑ
- 川 合 平野 ちよ
- 朝 日 吉川 秀夫
- 一 班 西屋 茂広
- 二 班 山本サチヨ
- 三 班 宮下 音松
- 四 班 新井 真澄
- 五 班 表 秀雄
- 板 倉 上田 道夫
- 角 野 西 重夫
- 下 山 村上 一得
- 坂 無 村下 操
- 池ヶ島 林 昭明
- 岡 畑 谷 輝雄
- 下大納 山内登子雄
- 上大納 原 維雄
- 一 班 登久男
- 二 班 橋元 松江
- 三 班 山内 幸長
- 中 竜 山本 浩

ご入学・ご卒業 おめでとう

昭和54年度 学校別進学・就職状況

合 計	そ の 他	就 職 者	進 学 者	進路別		学校別
				性別	性別	
1	0	0	1	男	朝日中学校	
4	0	1	3	女	朝日中学校	
5		1	4	計	朝日中学校	
21	0	0	21	男	大納中学校	
7	0	0	7	女	大納中学校	
28	0	0	28	計	大納中学校	

三月十八日、朝日、大納両中学校を皮切りに各小中学校で卒業式が行われ、希望に胸ふくらむ卒業生たちは、在校生に見送られ思い出多き校舎を後にしました。

また、四月一日には各小中学校において入学式が行われました。

四月一日に入学される児童

◆朝日小学校(七名)

児童名 性別 地区名 保護者

鷗飼 昭仁 男 朝日 昭市
清家 重行 〃 〃 〃 ひろみ
鳴 光聴 〃 〃 〃 下山 光義
原田 篤子 女 朝日 明正
新井 亜矢子 〃 川合 基衛
明石 由香利 〃 朝日 やゑ子
西村 直子 〃 〃 満朗

◆大納小学校(十二名)

永井 敦 男 上大納 照八郎
氏家 稔 〃 〃 英明
氏家 孝 〃 〃 英明
原 修司 〃 〃 健次
松本 宣孝 〃 〃 昭二
山崎 睦 〃 〃 宣夫
荒木 美千恵 女 〃 信彦
工藤 妙子 〃 〃 英雄
鈴木 理恵 〃 〃 正男
池田 淳子 〃 〃 義則
本田 晴美 〃 〃 治義

◆朝日中学校(九名)

吉岡 千賀子 〃 〃 和男
尾花 朋之 男 朝日 とみ江
今田 真一 〃 〃 春好
中屋 克己 〃 〃 稔
巢守 和義 〃 〃 後野 関次郎

清水 和英 男 下山 一英
長田 京子 女 朝日 仁志
鷲見 三千代 〃 〃 信雄
稲郷 暢恵 〃 〃 栄一
新井 幸代 〃 〃 川合 基衛

◆大納中学校(二十五名)

井上 哲男 男 上大納 哲夫
田中 公晶 〃 〃 一正
小森 雅文 〃 〃 喜和
石澤 康之 〃 〃 吉長
斉藤 順一 〃 〃 国恵
吉富 文秀 〃 〃 由春
丹 桂吾 〃 〃 昭太郎
小嶋 弘明 〃 〃 筆
武田 敏充 〃 〃 誠哉
松田 英敏 〃 〃 善次
田畑 義美 〃 〃 義作
高野 健一 〃 〃 国次
村下 充則 〃 〃 幸治
原田 太郎 〃 〃 時彦
石丸 和利 〃 〃 秀雄
松田 明子 女 〃 〃 七男
福末 真弓 〃 〃 稔
加賀 友子 〃 〃 正次郎
関口のり子 〃 〃 源久
長岡 容子 〃 〃 昇一
田近 孝子 〃 〃 武司
竹中 理香 〃 〃 一稔
田上 みどり 〃 〃 次徳
曾根 文子 〃 〃 雄次
松林 千香子 〃 〃 竹夫

朝日中学校長に松村敬二氏

四月一日付教職員定期異動

※朝小兼務

四月一日付、本村の各小中学校教職員の異動があり、次のとおり着任されました。

◎大納中学校

教諭 江守 雅弥(新採用)
教諭 明石 清美(新採用)

◎朝日小学校

教諭 山本 法善(新採用)
講師 堀 幸代(新採用)
◎大納小学校

教諭 加藤 篤子(新採用)
養教 旭 志保子(新採用)

◎朝日中学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

講師 荒井 雅子(朝日小)

転入

転出

◎朝日中学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

◎朝日小学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

◎朝日中学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

役場職員の一部異動

四月一日付で職員の一部に次のとおり異動がありました。

◎住民課

谷口久和(管財課)

◎総務課

番屋喜久男(収入役室)

◎産業観光課

三島政昭(新採用)

◎教育委員会

道岸幸恵(新採用)

◎診療所看護婦

木下久代(新採用)

◎退職

平野まさる(診療所看護婦)

◎朝日中学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

◎朝日小学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

◎朝日中学校

校長 松村 敬二(県教委)
教諭 水野 幸子(新採用)
養教 帰山由美子(新採用)

成人学級レポート③
地域を大切に……
〈大納分館〉

大納分館の特徴は、運営委員会を構成し分館行事の企画や運営を自主的に推進していることです。

昨年より年間を通じた学習に移行し、お盆の前には郷土民謡教室、左儀長の前には毛筆教室を行うなど、地域に根差した活動を展開してきた。また、八月の仮装大会、十二月のクリスマスパーティ、二月の雪上運動会などは、恒

例の行事として地域住民と分館とが一体となって催された。昭和五十五年度に向け、新運営委員を選出し、新しい企画のもとに活動しようとしている。

春から初夏にかけての
「鉄道妨害防止運動」

例年春から初夏にかけて、子供のいたずらによるレールへの置石、また、線路内歩行や線路の横断等による事故のため、列車の安全運転に重大な支障を及ぼしております。このような事故をなくすた

和泉俳句
短歌コーナー

〈俳句〉

一、せせらぎの 雪の下から ねこやなぎ 古島 まさえ

一、満開の さくら眼にしむ 夕陽どき 新井 基 衛

〈短歌〉

一、子等嫁ぎ、幸せ多きを 喜べり 山田 まつ 糸

趣味を求めて われ老いゆくか 杉本 とみ子

一、いねがてに 聞く古里の 大雨やさし 友は便りに かく書きてきぬ

なお、五月号の応募期限は、四月末日までです。皆さんふるって応募してください。

め、次の事項をよく守るようお願いいたします。

- ① 子供を、線路近くで遊ばせないこと。
- ② 線路を歩いたり、横切ったりしないこと。
- ③ 踏切では、必ず一時停車して左右と前方の安全をよく確かめてから渡ること。
- ④ 近道だからといって、耕うん機や一輪車などで踏切外の線路を横切らないこと。
- ⑤ 線路内にビニール、トタン等が飛散しないよう処置しておくこと。

国民年金の
保険料は忘れずに

四月は、一、二、三分分の国民年金保険料の納入期限の月です。保険料を納め忘れてしまうと、万一の事故のとき障害年金や母子年金などを受けられないばかりでなく、将来、老齢年金が受けられないこともあつて、老後の生活のささえが失われます。今一度、お確かめください。もし未納ならば、すぐ保険料を納めましょう。なお、去年の四月から十二

安全で楽しい
「鯉のぼり」を
(北陸電力)

可愛いお子さまや、お孫さまの楽しい「鯉のぼり」の時期になりました。

最新の「鯉のぼり」のポールは、金属製でしかも長くなつてきていますので、次の点に注意するようお願いいたします。

- * 「鯉のぼり」は電線から十分離れたところに立ててください。
- * 金属製のポールは、特に「感電」しやすいので気をつけてください。

* 風のためにポールが「たおれたり」「かたむいたり」して電線にふれないようしっかりと固定してください。

昭和五十五年度
新役員決まる
和泉村青年団

和泉村青年団は、このほど旧教育センターにおいて臨時総会を開き、昭和五十五年度の新役員を次のとおり決めました。

- 団 長 木下 宏一(朝日)
- 副団長 新屋きよみ(〃)
- 書記 尾崎 治和(上大納)
- 会 計 中村 喜恵(朝日)
- 実行委員 金子 栄治(川合)
- 道岸 幸恵(朝日)

|| 人のうごき ||

▼ 赤ちゃん誕生
下山 谷早織 政信 二女



早織ちゃん



松のぼり No.144